

新県立中央図書館基本構想

(令和8年10月改定)

基本理念：すべての県民の「調べる・考える・解決する・創造する」を支え、しずおかの未来を創生する

〔改定のポイント〕・これまでの基本構想の基本的なコンセプトを踏まえ、東静岡地区のまちづくりに沿った形で、社会情勢の変化に合わせて経済性や機能性を重視
・有識者会議の議論などの知見を活かし、県内全域へのサービス展開と、市町立図書館支援をより強化

NEW

2つの方向性

現県立中央図書館の長所の継承

専門資料や
地域資料等の
保存・充実



専門的な
レファレンス
(調べもの相談)



人的・物的な
市町立図書館
支援



市町立図書館の役割(地域密着:住民に身近な資料の提供、読書推進等)との違いを踏まえ、県立図書館の役割(広域支援:専門資料の保存・提供、市町立図書館の支援)を着実に果たす

県内のどこからでも 利用できるサービスの充実

市町立図書館等と
連携した資料・情報
の提供



デジタル技術
の活用



3つの目指す姿

UPDATE

1

県民の探究心に
応える情報拠点
としての図書館



多様な学び・
情報アクセス機能



静岡県文化の
継承・発信機能



県民の
読書活動推進機能

2

県内の市町立
図書館等を強力に
支援する図書館



図書システムと
資料搬送の拠点
機能



市町立図書館
運営支援機能



その他の機関等
への支援機能

3

県民の新たな交流
や創造を生み出す
図書館



人と人、人と本が
出会い、交流する
機能



新たな文化の
創造・発信機能



多様な知恵の
協働が生み出す
価値創出機能

施設整備の方向性

1

建設地

東静岡駅南口県有地

2

収蔵能力

150万冊上限

3

整備手法

民間活力導入

4

開館時期

令和10年代中頃～後半

計画等改定に向けての検討

- ・別置書庫の検討
- ・東静岡での連携
- ・管理運営への民間活力導入の検討